【主催】

一般社団法人 東京都臨床工学技士会 Tokyo Association of Clinical Engineering Technologists　東京都　東京都医工連携HUB機構

臨床工学技士による臨床現場の「困りごと」から製品開発・研究業績へ

第2回 臨学産クラスター研究会
臨床ニーズ募集

【本会の目的】

一般社団法人東京都臨床工学技士会と東京都医工連携HUB機構の合同で、臨床工学技士と製販企業・ものづくり企業での医工連携体制を確立し、臨床工学技士がもつ臨床現場の「困りごと」に基づく製品開発・研究業績の推進を図ることで、医療機器産業界の発展に寄与することを目的とする。

医工連携の活性化のためには、臨床現場からのニーズ提供が持続・拡大していくことが望まれる。そのためには、臨床ニーズがもつ知的財産的価値の考え方やその取り扱いが重要な課題となる。臨床ニーズ発表・マッチングの開催にあたっては、臨床ニーズの知的財産的価値に配慮して企画実施することを目指す。

【開催概要】

日時　2020年4月24日（金）18:00～20:00（受付開始17:30）

会場　東京大学医学部附属病院　入院棟A　15階　大会議室　（東京都文京区本郷7-3-1）

参加費　無料

第1部　臨床ニーズマッチング

18:00～19:20　開会挨拶（東京都臨床工学技士会、東京都）
臨床ニーズ発表（8テーマ）

第2部　製販企業・ものづくり企業と交流会

19:20～20:00　臨床工学技士、製販・ものづくり企業による情報交換
（参加企業から自社紹介・製品ショートプレゼン
名刺交換・情報交換）

【後援】　申請予定

経済産業省 関東経済産業局　公益社団法人 日本臨床工学技士会 Japan Association for Clinical Engineers

ニーズ募集要項

募集内容： 臨床現場の困りごと・臨床ニーズなど　　募集数： 8テーマ
応募資格： 日本臨床工学技士会 会員　　発表形式：口演
応募先： icou.tokyoce@gmail.com までメールで氏名、所属先、会員番号
ニーズ要約（下記の①～③）をお送り下さい。
募集期間： 2020年1月20日（月）～2020年3月1日（日）まで
（応募順にニーズ要約を査読し、採否の通知をさせていただきます）

【ニーズ要約】

東京都医工連携HUB機構のHP（https://ikouhub.tokyo/needs/needs_list）に掲載

①開発するデバイスの種類（20文字以内）

例）鉗子、超音波診断装置、処置用台など

②デバイス開発の背景（臨床現場の現状と問題点を200文字以内）

文章の最後に【例：樹脂加工系企業・ソフトウェア企業を求めています】とマッチングしたい企業をお書きください。また、知財保護等のため「公開可能な情報」に限定ください。
開発アイデア（解決策）そのものなど知財に関わる情報、秘密の情報は記載できません。

良い例）問題点までの情報を提供
→〇〇が難しい、□□が時間がかかる、××ができない
悪い例）解決策の情報は提供しない
→〇〇ができるようにしたい、□□な構造の××を開発したい

③具体的なデバイス開発のアイデアの有無

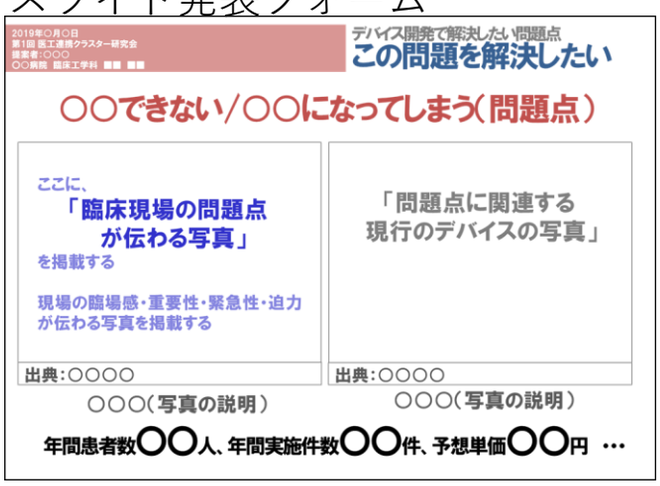
有りの場合は、志賀国際特許事務所との連携体制で出願の可能性を検討します。その際は、Webミーティングアプリ「ZOOM」を使用し、東京都医工連携HUB機構のコーディネーター、弁理士と一緒に30分無料で協議します。

注） 知的財産の保護や企業とのマッチングを円滑にするため、ニーズ要約や発表スライドは事前に東京都臨床工学技士会と東京都医工連携HUB機構で査読し、場合によっては修正をお願いさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

ニーズ発表方法

決められたスライド発表フォームで、発表時間3分、スライドは1枚＋αで背景と問題点のみ発表します。課題や解決策など知財的価値のある情報は発表できません。

スライド発表フォーム



製品化までの流れ

臨学産クラスター研究会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

↓

マッチング※1
臨床工学技士 × 製販企業 × ものづくり企業

※1　秘密保持契約（NDA）締結後、ニーズの課題や解決策など知的財産的価値の情報を交換する。ニーズから製品化につながる確率を高めるため製販企業・ものづくり企業と開発テーマを作る。

↓

公的資金申請・獲得※2
申請者＝ものづくり企業

※2 東京都中小企業振興公社
医療機器産業参入促進助成事業
①事業化助成金　上限 5,000万円（助成率 2/3）
②開発着手助成金 上限　500万円（助成率 2/3）

↓

共同研究開発・製品化

ニーズ募集要項やその他、メールでのお問合せ先　a.daiki0212@gmail.com
東京都臨床工学技士会 理事　医工連携WG 担当責任者　朝日大樹